

海外派遣事業を振り返って



目標を持つて臨んだ派遣事業

石井 翼さん

わたしはこの事業を体験して一番感じたことは、「言葉が通じなくても笑顔でいればお互いに理解し合える」ということです。わたしは先輩からこの事業の話を聞き、自分にチャンスが来た時には絶対に参加したいと考えていました。今回、その念願どおり参加するわたしに、その先輩がアドバイスをくれました。それは「言葉が通じなくても笑顔でいれば大丈夫」ということでした。

ニュージーランドに着くと、周りは外国人ばかりで、せっかく話し掛けてもらつても、話す英語が理解できずに困りました。そこでアドバイスを思い出し、とりあえず笑顔を返すと、相手も笑い掛けてくれました。その時わたしは本当に先輩のアドバイスに助けられましたし、そのとおりだなと感じました。

先輩からのアドバイスに感謝

行方 佑貴子さん

わたしがこの事業を体験して一番感じたことは、「言葉が通じなくても笑顔でいればお互いに理解し合える」ということです。わたしは先輩からこの事業の話を聞き、自分にチャンスが来た時には絶対に参加したいと考えていました。今回、その念願どおり参加するわたしに、その先輩がアドバイスをくれました。それは「言葉が通じなくても笑顔でいれば大丈夫」ということでした。

今回の事業に参加するに当たつて、わたしは三つの目標を持ちました。一つ目は英語いろいろな会話をし、英語の力を上げることです。話してみると、最初は何を言っているのか分かられませんでした。しかし、単語から連想し、何とか会話が成り立ち、その後はたくさんのこと

世界遺産 ミルフォードサウンド
白かったのは、わたしがお土産を持って行つた「あんこ」の入った和菓子を渡した時に、「中に何が入っているの?」と聞かれました。「Anko」と答えた後、家族のみんなに「Uncle(おじさん)」が入っていると思われ、笑われてしまつたことです。家族全員が親切で楽しい人たちばかりでしたので、とても楽しかつたです。

楽しかつたホームステイ

平野 裕巳さん

わたしは今回の事業で、貴重な経験をたくさんしました。ホームステイ中にあつた話を紹介します。ホームステイ先の家族の次男は、3年前に日本に来たことがあります、写真を見せてもらいました。ニュージーランドにいながら日本の写真を見たので、なぜか感動しました。

また、家族との会話の中で面白かったのは、わたしがお土産を持って行つた「あんこ」の入った和菓子を渡した時に、「中に何が入っているの?」と聞かれました。「Anko」と答えた後、家族のみんなに「Uncle(おじさん)」が入っていると思われ、笑われてしまいました。しかし、単語から連想し、何とか会話が成り立つました。

世界遺産 ミルフォードサウンド
歓迎会での歌の披露
白かったのは、わたしがお土産を持って行つた「あんこ」の入った和菓子を渡した時に、「中に何が入っているの?」と聞かれました。「Anko」と答えた後、家族のみんなに「Uncle(おじさん)」が入っていると思われ、笑われてしまいました。しかし、単語から連想し、何とか会話が成り立つました。

多くのことを学んだ8日間

行方 彩華さん

この8日間は楽しい時間ばかりでした。とても良い忘れる事のできない思い出となりました。学んだことがたくさんありました。豊かであるが、ニュージーランドと日本の違いも知りました。日本がどれだけ豊かであるか、ニュージーランドと比べて自然や人を大切にしているかも感じました。これからは豊かさに感謝し、自然や周りの人を大切にしていきたいです。

引率者レポート

多古町教育課 林 勝美

3月14日、22人の多古中3年生が成田空港からニュージーランドへ旅立ち、テ・アナウ地区での『国際交流海外派遣事業』が始まりました。出発前の生徒たちは、不安と期待が入り混じつたような表情でしたが、いざ交流が始まると、すぐに充実した顔に変わりました。

生徒たちは、言葉のほかにも知らないことや聞きたいなどを電子辞書等で調べ、積極的にコミュニケーションを図り、ホストファミリーやフィヨードラントカレッジの生徒たちから、たくさんのことを見学していました。

また、食事や入浴など、日本とは全く違う生活・文化などにも触れることができ、生徒たちにとって、とても貴重な体験になったと思います。ホームステイを終え、ホストファミリーと別れる際には「離れたくない」と声に出し、涙で別れを



惜しむ生徒の姿も見られました。

平成21年度の『国際交流海外派遣事業』は、新型インフルエンザの影響を受け、実施時期が8月から3月に変更となりました。そのため、参加した生徒たちは、帰国直後の4月から高校生になります。今回の貴重な体験を今後の人生に生かすとともに、後輩や友だちなど多くの皆さんに、この体験の思い出を語ってほしいと思います。

国際交流海外派遣事業 in ニュージーランド



町では、国際化に対応できる豊かな国際感覚を身に付けた人材の育成を目指して、平成19年度から『国際交流海外派遣事業』を実施しています。3年目となる平成21年度は、多古中学校3年生22人と引率者5人が、3月14日から21日までの8日間、ニュージーランド南部の町「テ・アナウ」を訪問。地元学校での体験学習やホームステイなどを通じて、現地の皆さんとの交流を行つてきました。(生徒の学年は平成22年3回までのもの)

New Zealand

■スケジュール

期 日	活 動 内 容
1日目 3/14 (日)	成田空港にて出発式 18:30 発・オークランドへ
2日目 3/15 (月)	9:20 オークランド空港到着 テ・アナウへ ホストファミリーと対面【ホームステイ】
3日目 3/16 (火)	フィヨードラントカレッジ登校 (校内見学・市内研修・環境情報施設視察) 【ホームステイ】
4日目 3/17 (水)	フィヨードラントカレッジ登校 (歓迎会・体験学習) 【ホームステイ】
5日目 3/18 (木)	フィヨードラントカレッジ登校 (体験学習) 【ホームステイ】
6日目 3/19 (金)	世界遺産ミルフォードサウンド視察 【ホームステイ】
7日目 3/20 (土)	ホストファミリーとお別れ オークランドへ(市内研修・ホテル泊)
8日目 3/21 (日)	9:15 オークランド空港発・成田へ 16:25 成田空港到着



多古中学校	多古町	派遣生徒
教諭 萩原 健之	高橋 千葉 大木 齋藤 石井 滝谷	行方 佐藤 真由
教育課 林 勝美 洋	押田 夏美 翔平 智也 彩香 絢磨	野老 土屋 大矢茉 行方 佐藤 真由
教育課 林 勝美 洋	高橋 千葉 大木 齋藤 石井 滝谷	保田まどか 祐里 葵美江 幸也 紗耶加
外国語指導助手 マギー・マクガリー	高橋 千葉 大木 齋藤 石井 滝谷	行方 佑貴子 翼